中部電力パワーグリッド

CHUBU
Electric Power

発動指令電源と電源Ⅰ´契約電源等が重複する場合の取扱いについて

２０２１年7月1日

はじめに

- 容量市場において落札された発動指令電源は，容量確保契約容量の蓋然性確認等を目的とした実効性テストを，実受給年度の２年度前に実施する必要があります。

- 発動指令電源におけるリソースと電源Ⅰ´厳気象対応調整力契約におけるリソースが重複する場合の実効性テスト，厳気象対応調整力の提供に関する取扱いは本資料のとおりといたします。

Copyright © Chubu Electric Power Grid Co., Inc. All rights reserved.

前提

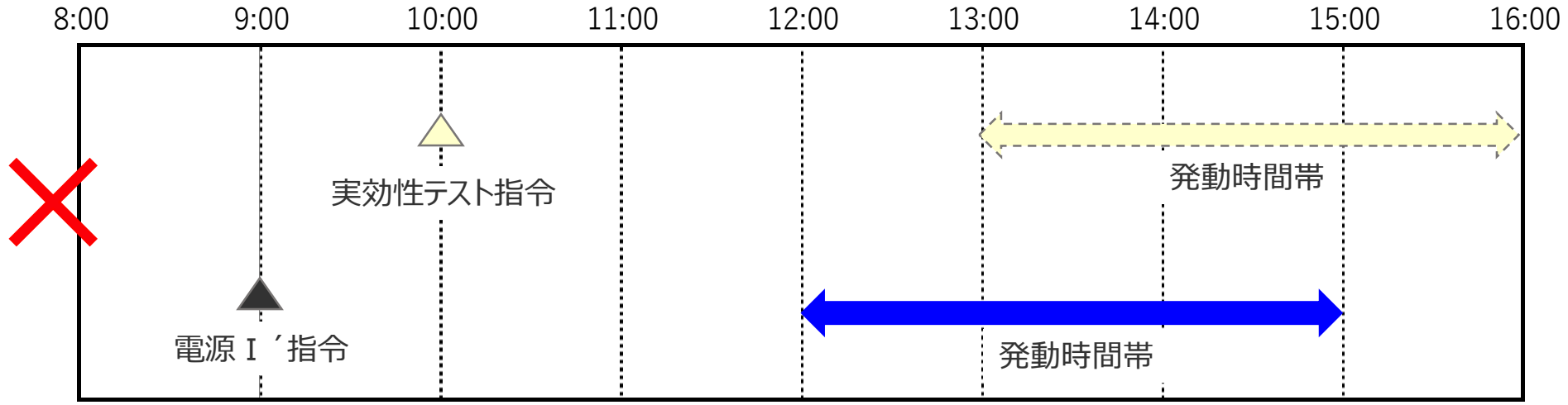
■ 本資料では，以下の内容を前提に取扱いを説明いたします。

リソース	電源Ⅰ´ 最大供出電力	電源Ⅰ´契約電源等 対象	発動指令電源 対象
A	1，000	○	○
B	500	○	
C	1，500	○	
D			○
電源Ⅰ´契約電力	2，500		

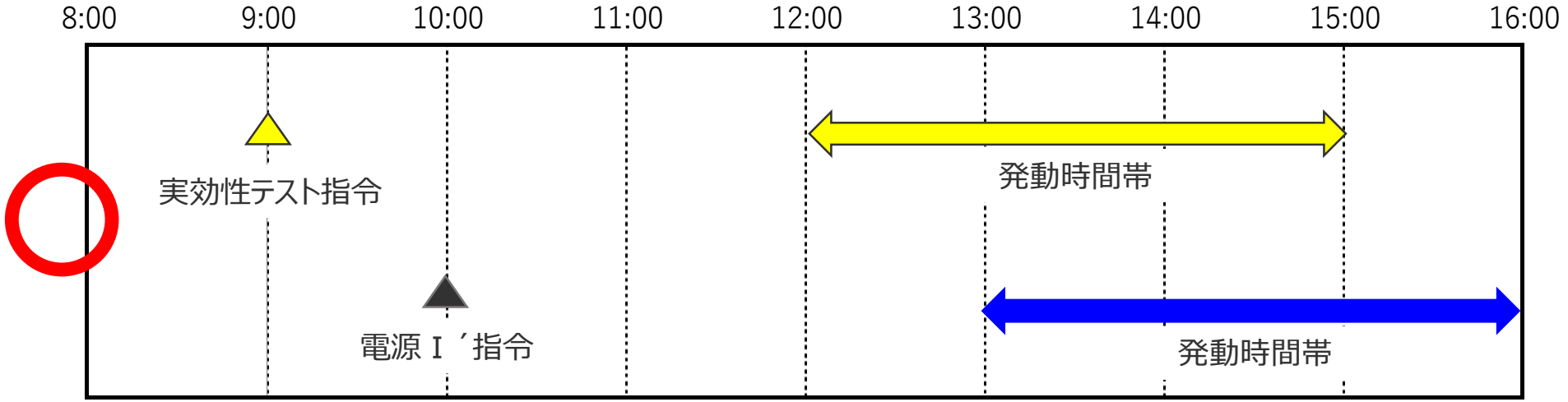
・電源Ⅰ´はA，BおよびCをアグリゲーションして組成
・発動指令電源は，AおよびDをアグリゲーションして組成

Copyright © Chubu Electric Power Grid Co., Inc. All rights reserved.

発動指令



電源Ⅰ´指令後に、発動時間帯が重なってしまうタイミングでの実効性テスト指令は行いません。



実効性テスト指令後に、電源Ⅰ´指令を行うことがあります。（詳細は次スライド以降）

Copyright © Chubu Electric Power Grid Co., Inc. All rights reserved.

調整電力量算定対象，指令値および停電割戻料金

リソース	電源Ⅰ´ 最大供出電力	電源Ⅰ´契約電源等 対象	発動指令電源 対象
A	1，000	○	○
B	**500**	○	Ａ，Ｄ実効性テスト により先行して発動
C	**1，500**	○	
D			○
電源Ⅰ´契約電力	**2，500**		

・この場合，調整電力量算定の対象となるリソースはＢおよびＣといたします。
・指令値は以下の値といたします。（以下「実効性テスト実施時指令値」といいます。）
・停電割戻料金算定に関する未達割合の算式における「厳気象対応調整力契約電力」はすべて「実効性テスト実施時指令値」に読み替えるものといたします。

実効性テスト実施時指令値：$\underset{①}{2{,}500} \times \underset{②}{2{,}000} \,/\, \underset{③}{3{,}000} = 1{,}429$ （小数点以下第１位四捨五入）

① 電源Ⅰ´契約電力
② 調整電力量算定の対象となるリソースの電源Ⅰ´最大供出電力合計値
③ 電源Ⅰ´最大供出電力合計値

Copyright © Chubu Electric Power Grid Co., Inc. All rights reserved.